



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2008, 91(1): 111-111

ISSUE DATE:

2008-10-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/142663>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成20年10月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第91巻 第1号

ISSN 0525-2997

vol.91 no.1

物性研究

2008 / 10

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu 90 (2008), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当個所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

Geoffrey Ingram Taylor (1886–1975) はイギリスの応用数学・物理学者で、おそらく 20 世紀で最も偉大な科学者のひとりです。流体の関与する様々な現象に関して、実験および理論の両面において本質的かつ先駆的研究の数々を成し遂げました。流体の不安定性に関しては彼の名を冠する Taylor-Couette, Rayleigh-Taylor, Saffman-Taylor などは大変有名です。乱流の研究においては統計的アプローチの重要性の指摘、凍結仮説、大気乱流の粘性測定などがあります。Taylor が初めて指摘した、固体の強度に対する欠陥の重要性は、今日の固体力学の基本的概念です。回転流体における二次元性を看破し、また流れ場中の溶質の拡散現象を解き明かしました。液滴あるいは泡の変形と安定性、混合液の粘性、電気流体力学における種々の不安定現象、さらには薄膜、剥離現象の研究などはどれも今日のソフトマター物理における概念的基礎を形成しています。また微生物の水中での運動を初めて理論的に取り上げ、低レイノルズ数領域での運動学という実り豊かな分野を開拓しました。ここに挙げたものは依然として、Taylor の業績のごく一部にすぎません。その多くが多様な現代的分野へ発展しており、Taylor の研究はいまもその広さと深さにおいて圧倒的な影響力を示しています。Taylor の研究の特筆すべき特徴のひとつは、連続体の関与する複雑多彩な非線形現象に対して、一方で透徹した実験系をデザインし、他方で（ときに大変煩雑な計算を伴った）理論によって現象の本質に明快な物理的解釈を与えた点にあるだろうと思われます。それは実験と理論の見事な調和とでもいうべきものです。

私自身は（研究歴はまだそれほどありませんが）これまで非平衡、ソフトマターや生物の物理学に携わってきました。連続体力学はとうの昔に終わった学問だという声もときおり耳にしますが、Taylor の業績を振り返ると、古典物理学は今なお新鮮でますます輝きに満ちているという思いをあらたにします。他方、近年は大型のプロジェクト研究に多額の科学予算が投入され、われわれ研究者は皆、最先端の “cutting-edge” な研究を行うことを期待されているようです。さて華やかで刺激に満ちた 20 世紀の原子物理学の発展を Taylor がどのように横目にみたかわかりませんが、彼自身は生前、生まれ変わってもまた「応用数学者」になりたいと語ったそうです。（参考文献としてはたとえば、“The Life and Legacy of G I Taylor”, by G. Batchelor, Cambridge Univ. Press,あるいはパリティ2001年7月号「Taylor の業績からみる現代古典物理学」M. P. Brenner and H. A. Stone, 木田重雄訳など。）

(H. W.)

[物性研究]

編 集 長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)
古賀 昌久 (京大・理・物理)
高橋 義朗 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
御手洗菜美子 (九大・理・物理)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 91 卷第 1 号 (平成 20 年 10 月号) 2008年10月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 91-1 (10月号) 目 次

○講義ノート

「コトの物理学」 樺島 祥介 1

○修士論文 (2007年度)

Wormlike-Chainモデルに基づく単一高分子鎖の粘弾性挙動
..... 平岩 徹也 34

○ひろば

高温超伝導の研究がもたらした物性物理の革命的進歩
..... 山田 耕作 97

○編集後記 111

物 性 研 究 91-1 (10月号) 目 次

○講義ノート

「コトの物理学」 樺島 祥介 1

○修士論文 (2007年度)

Wormlike-Chainモデルに基づく単一高分子鎖の粘弾性挙動
..... 平岩 徹也 34

○ひろば

高温超伝導の研究がもたらした物性物理の革命的進歩
..... 山田 耕作 97

○編集後記 111